

マイサーバーサービス 利用マニュアル  
マイサーバー S-100

**RIMNET** <http://www.rim.or.jp/support/>

Members Guide Book **2014/01**

## はじめに

本利用マニュアルでは、初めてマイサーバー S-100 を使用するお客様を対象に マイサーバー S-100 の基本的な使用方法を解説します。サービス仕様から、電子メール機能やホームページ機能に至るまで、実際の動作画面を交えて解説します。

## 目次

はじめに.....	1
目次.....	1
1. サービス仕様.....	4
1-1. サービスの概要.....	4
1-1-1. サーバの機能.....	4
1-1-2. サーバの仕様.....	4
1-1-3. ドメイン名.....	4
1-1-4. IP アドレス.....	4
1-1-5. ソフトウェア.....	5
1-2. セキュリティ.....	5
1-2-1. サービスの限定.....	5
1-2-2. 物理的なセキュリティの確保.....	5
1-2-3. オプションでの SSL のサポート.....	5
1-2-4. SMTP Auth (送信時認証) による SMTP サーバ不正利用の禁止.....	5
2. ファイル転送.....	6
2-1. 機能.....	6
2-1-1. 転送方式.....	6
2-1-2. FTPS.....	6
2-1-3. Anonymous FTP.....	6
2-2. 設定/使用方法.....	6
2-2-1. FTPS の接続設定.....	6
2-2-2. 各ソフトの設定方法.....	7
2-2-3. FTP ソフトの設定方法 (Windows 用 : FileZilla).....	7
2-2-4. FTP ソフトの設定方法 (Windows 用 : NextFTP4).....	9
2-2-5. FTP ソフトの設定方法 (Windows 用 : WinSCP).....	11
2-2-6. FTP ソフトの設定方法 (Macintosh 用 : NetFinder).....	13
2-2-7. FTP ソフトの設定方法 (Macintosh 用 : Fetch).....	14
2-3. ディレクトリ構造.....	15
2-4. パーミッション.....	16
2-4-1. パーミッションとは.....	16
2-4-2. パーミッションの変更方法.....	16
2-4-3. パーミッションを変更しなければならないケース.....	16
2-4-4. 権限の種類.....	16
2-4-5. パーミッションの表記.....	17

2-4-6. 設定するパーミッションの値	17
2-4-7. パーミッションによるセキュリティの確保	17
3. コントロールパネル	18
3-1. 概要	18
3-2. アクセス方法	18
4. 電子メール	19
4-1. 機能	19
4-1-1. 対応プロトコル	19
4-1-2. 容量制限	19
4-1-3. 迷惑メール対策	19
4-1-4. メールの転送機能	19
4-1-5. 転送設定の方法	19
4-1-6. メール送信 (SMTP) の submission ポートへの対応	19
4-2. 設定/使用方法	20
4-2-1. 設定する情報	20
4-2-2. メールソフトの設定方法	20
4-2-3. メールソフトの設定方法 (Windows 用 : Outlook Express 6.0)	21
4-2-4. メールソフトの設定方法 (Windows 用 : Outlook2007)	25
4-2-5. メールソフトの設定方法 (Windows 用 : WindowsLive メール)	29
4-2-6. メールソフトの設定方法 (Windows 用 : Thunderbird3.0)	31
4-2-7. メールソフトの設定方法 (Macintosh 用 : Mail 3.0)	33
4-2-8. メールソフトの設定方法 (Macintosh 用 : Outlook Express 5.0)	41
4-3. 制限事項	46
4-3-1. SMTP 利用制限	46
4-3-2. メールサイズの制限	46
4-4. Web メール	46
4-4-1. 概要	46
4-4-2. Web メールへの接続方法	46
5. ホームページ	47
5-1. 機能	47
5-1-1. Web サーバソフト	47
5-1-2. 対応プロトコル	47
5-1-3. 対応コンテンツ	47
5-1-4. ドキュメントルート	47
5-1-5. URL	47
5-1-6. Web アクセス制限機能	48
5-1-7. SSL オプションの対応プロトコル	48
5-2. 設定/使用方法	48
5-2-1. コンテンツ設置方法	48
5-3. CGI・PHP・SSI	49
5-3-1. 概要	49
5-3-2. ファイルの設置ディレクトリ	49
5-3-3. CGI	49
5-3-4. PHP	49
5-3-5. SSI	50

5-3-6. Sendmail の利用 .....	50
5-3-7. Perl のモジュール .....	50
5-4. ログファイル .....	50
5-4-1. 種類 .....	50
5-4-2. 保存期間 .....	50
6. メーリングリスト .....	51
6-1. 機能 .....	51
6-1-1. アドレス .....	51
6-2. 設定/使用方法 .....	51
6-2-1. メーリングリストの管理 .....	51
6-2-2. メーリングリストへの投稿 .....	51

# 1. サービス仕様

## 1-1. サービスの概要

### 1-1-1. サーバの機能

マイサーバー S-100 のサーバでは、以下の機能を提供します。

Web サーバ

メールサーバ

FTP サーバ (FTP over SSL/TLS)

メーリングリスト

データベース

### 1-1-2. サーバの仕様

マイサーバー S-100 では、Ping に応答します。また、サーバの文字コードは UTF-8 となっております。

### 1-1-3. ドメイン名

マイサーバー S-100 では、公式に登録された、お客様が正当な使用権利を有するドメイン名を1つご利用になれます。また、サブドメイン名設定は行なえません。

お客様の独自ドメインを使用するが、DNS サーバをお持ちでない場合、リムネットの DNS サーバにお客様のドメイン名のゾーンに登録します。この場合、登録される DNS の設定は以下のようになります。(ドメイン名が” example.com”、割当 IP アドレスが” 123.123.123.123” の場合)。

example.com	IN A	123.123.123.123
example.com	IN MX 10	example.com.
www. example.com	IN A	123.123.123.123
mail. example.com	IN A	123.123.123.123
webmail. example.com	IN A	123.123.123.123
lists. example.com	IN A	123.123.123.123

なお、逆引き設定については、ドメイン名の種類に係わらず、マイサーバーサービスの DNS サーバに以下の情報を登録します。

123.123.123.123. in-addr. arpa. IN PTR example.com.

### 1-1-4. IP アドレス

1つのマイサーバー S-100 のご契約につき、1つの固定 IP アドレスを割り当てます。

## 1-1-5. ソフトウェア

マイサーバー S-100 のサーバでは、以下のソフトウェアを使用しています。

OS	Linux 系
WWW サーバ	Apache2.2 系
メールサーバ	qmail
FTP サーバ	非公開

## 1-2. セキュリティ

### 1-2-1. サービスの限定

マイサーバー S-100 のサーバでは、必要なサービスだけを限定して動作させており、不要なサービスは停止させています。動作している主なサービスは以下の通りです。

HTTP

HTTPS

FTP (FTP over SSL/TLS)

POP3

SMTP

なお、直接的にサーバの内容を操作されやすいシェルログインや Telnet でのアクセスは受け付けない設定となっております。

### 1-2-2. 物理的なセキュリティの確保

マイサーバー S-100 のサーバは、入退室管理を行ない、耐震設計・空調設備・無停電電源を完備した国内データセンタに設置されており、サーバが安全に稼働できる環境となっております。

### 1-2-3. オプションでの SSL のサポート

SSL に対応したセキュリティの高いホームページを作成することが可能です。

なお、SSL はオプションサービス (SSL ライセンス購入及び SSL 証明書申請・設定代行料金) となっております。詳しくは、サービス Web の「SSL オプションサービスのご案内 ([http://www.rim.or.jp/my\\_server/option/ssl.html](http://www.rim.or.jp/my_server/option/ssl.html))」をご覧ください。

### 1-2-4. SMTP Auth (送信時認証) による SMTP サーバ不正利用の禁止

SMTP サーバ機能に「SMTP Auth (送信時認証)」というメール送信制限を掛けており、第三者による不正なメール送信に利用されることを防止しています。

## 2. ファイル転送

### 2-1. 機能

#### 2-1-1. 転送方式

マイサーバー S-100 では、サーバへのコンテンツのアップロードを行なう為のファイル転送方式として、FTPS (FTP over SSL/TLS) をサポートしています。

#### 2-1-2. FTPS

マイサーバー S-100 は、SSL/TLS の暗号化通信対応となっており、通信内容を暗号化することができる為、より安全にファイル転送を行なうことができます。また、サーバへコンテンツのアップロードを行なう場合には、同方式の暗号化通信に対応している FTP ソフトが必要となりますのでご注意ください。

なお、暗号化の方式は Explicit 方式への対応となっており、Implicit 方式には対応していません。

#### 2-1-3. Anonymous FTP

マイサーバー S-100 では、匿名でファイルのダウンロードが行なえる Anonymous FTP 機能はご利用になれません。

### 2-2. 設定/使用方法

#### 2-2-1. FTPS の接続設定

マイサーバー S-100 のサーバに、SSL/TLS による暗号化通信に対応した FTP ソフトを使用して接続する場合の設定方法です。FTPS でサーバに接続する際には、FTP ソフトに以下の情報を設定して下さい（ご利用の FTP ソフトにより、入力する内容や名称が若干異なる場合があります）。

FTPS サーバ名	お客様がご利用中のサーバ名
FTPS アカウント	アカウント登録証に記載のもの
FTPS パスワード	アカウント登録証に記載のもの、または、5文字以上 14文字以内の半角英数字でお客様が設定（変更）されたもの

ご利用の FTP ソフトにて、SSL/TLS の暗号化通信（Explicit 方式）の設定を行なって下さい。

## 2-2-2. 各ソフトの設定方法

次より、主な FTP ソフトの設定方法をご案内します。詳細は、ご利用の FTP ソフトのヘルプ、または製造元へお問い合わせ下さい。

<Windows 用>

FileZilla

NextFTP4

WinSCP

<Macintosh 用>

NetFinder

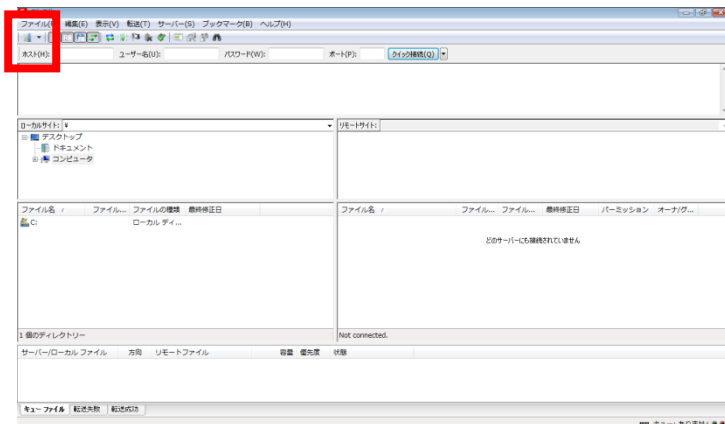
Fetch

## 2-2-3. FTP ソフトの設定方法 (Windows 用 : FileZilla)

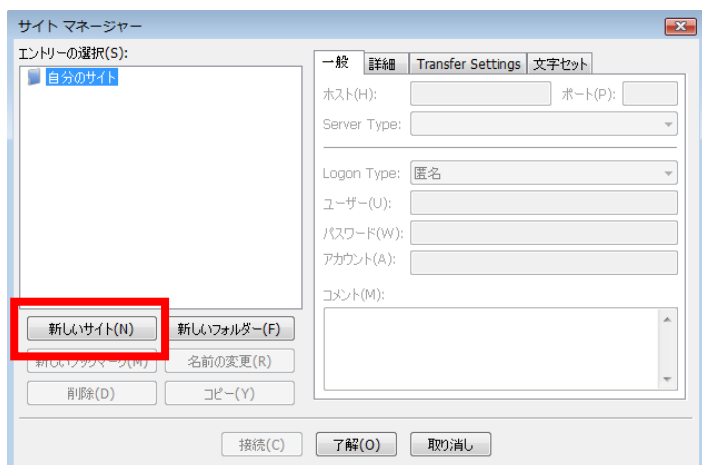
1. インストール後にデスクトップにできるアイコンをクリックして、「FileZilla」を起動します。



2. 「サイトマネージャーを開く」をクリックします。



3. 設定画面の「新しいサイト」をクリックします。





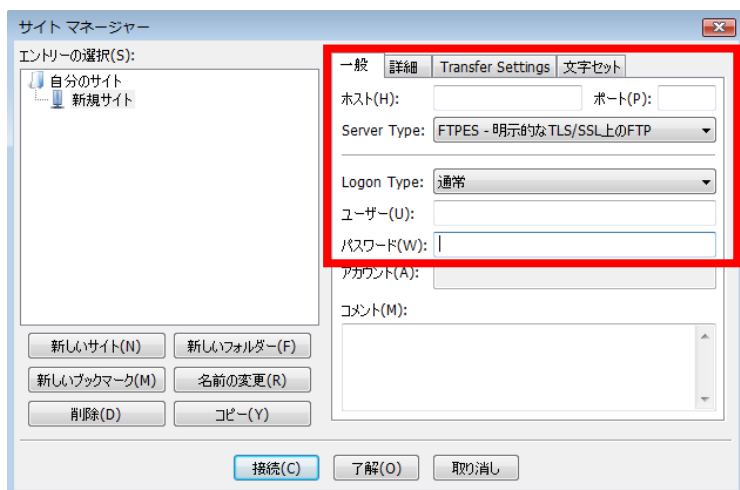
4. 上記の 3. の操作により、「エントリーの選択」に新しいサイトが追加されます。「一般」のタブに、以下の情報を設定します。設定後、「Transfer Settings」のタブをクリックします。

ホスト：「お客様がご利用中のサーバ名」

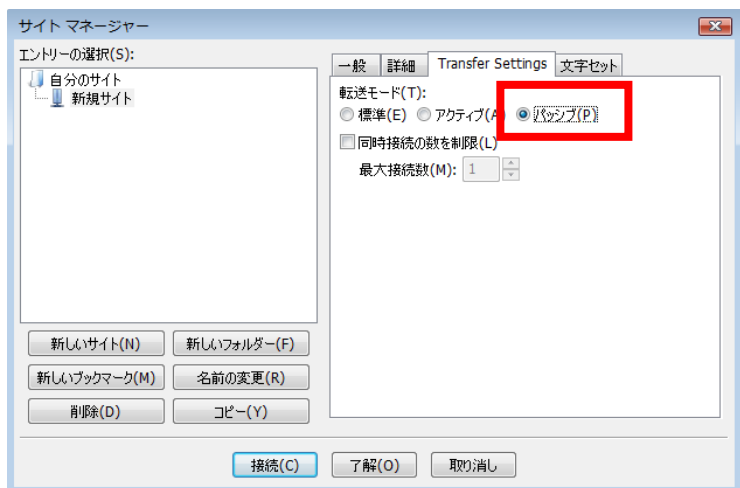
Server Type：「FTPES-明示的な TLS/SSL 上の FTP」

ユーザー：「アカウント登録証に記載のもの」

パスワード：「アカウント登録証に記載のもの、または、5 文字以上 14 文字以内の半角英数字  
でお客様が設定（変更）されたもの」



5. 「Transfer Settings」のタブで、「転送モード」の「パッシブ」を選択します。その後、「接続」をクリックして、設定完了です。

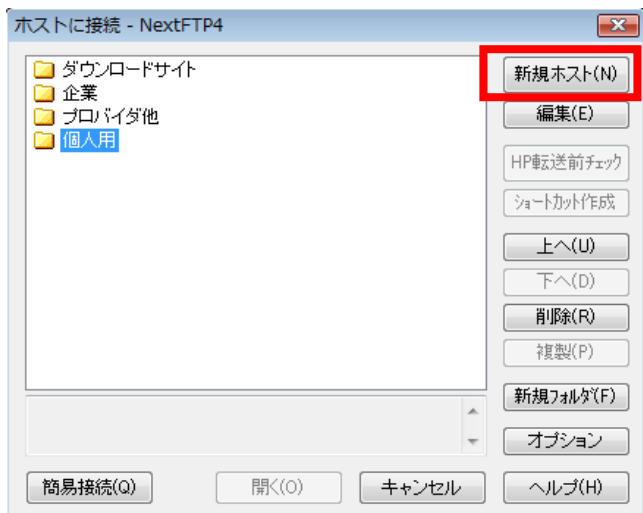


## 2-2-4. FTPソフトの設定方法 (Windows用: NextFTP4)

1. インストール後にデスクトップにできるアイコンをクリックして、「NextFTP4」を起動します。



2. 起動後、右上の「新規ホスト」をクリックします。



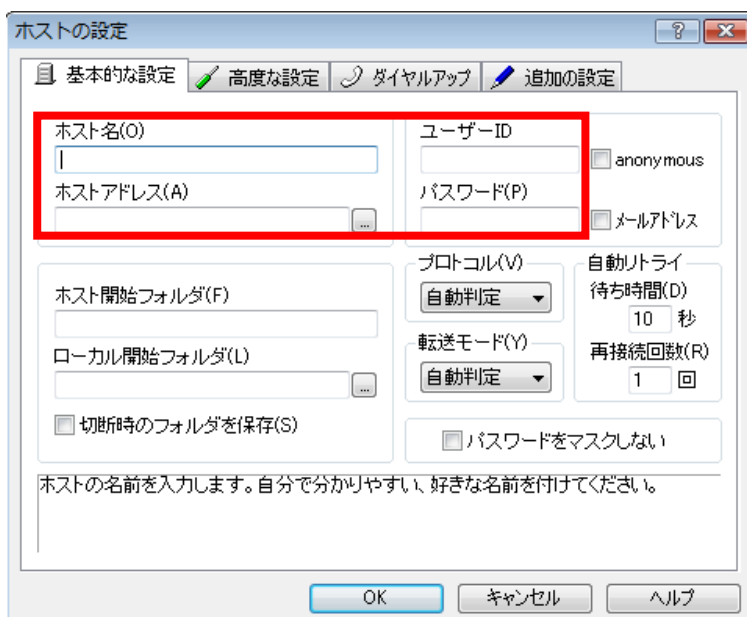
3. 「基本的な設定」のタブに、以下の情報を設定します。設定後、「高度な設定」のタブをクリックします。

ホスト名: 「任意の名前」

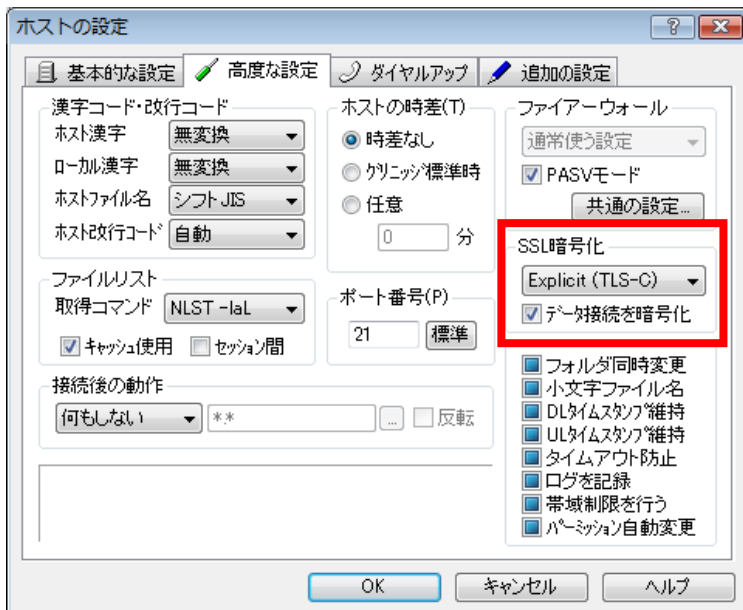
ホストアドレス: 「お客様がご利用中のサーバ名」

ユーザーID: 「アカウント登録証に記載のもの」

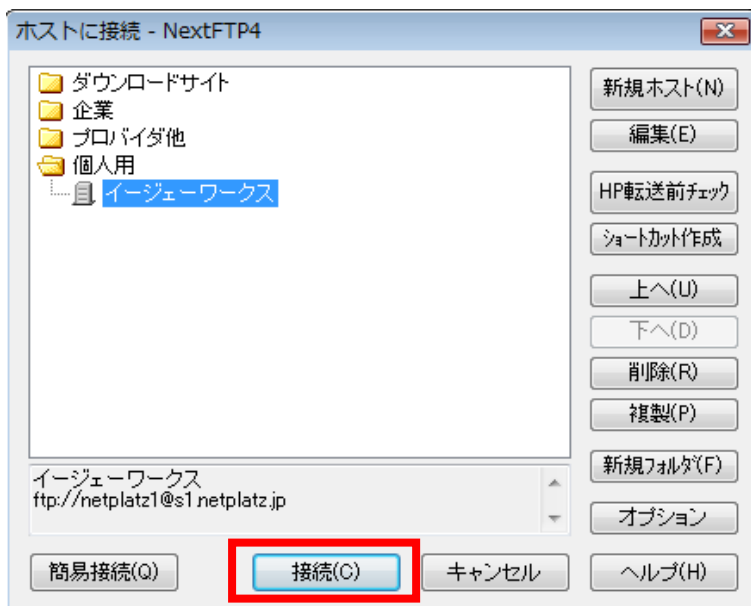
パスワード: 「アカウント登録証に記載のもの、または、5文字以上14文字以内の半角英数字  
でお客様が設定(変更)されたもの」



4. 「SSL 暗号化」で「Explicit (TLS-C)」を選択します。選択後、「OK」をクリックします。



5. 「個人用」フォルダの直下に、3. で「ホスト名」の項目に入力したホストが追加されています。そちらを選択の上、「接続」をクリックして設定完了です。



## 2-2-5. FTP ソフトの設定方法 (Windows 用 : WinSCP)

1. インストール後にデスクトップにできるアイコンをクリックして、「WinSCP」を起動します。



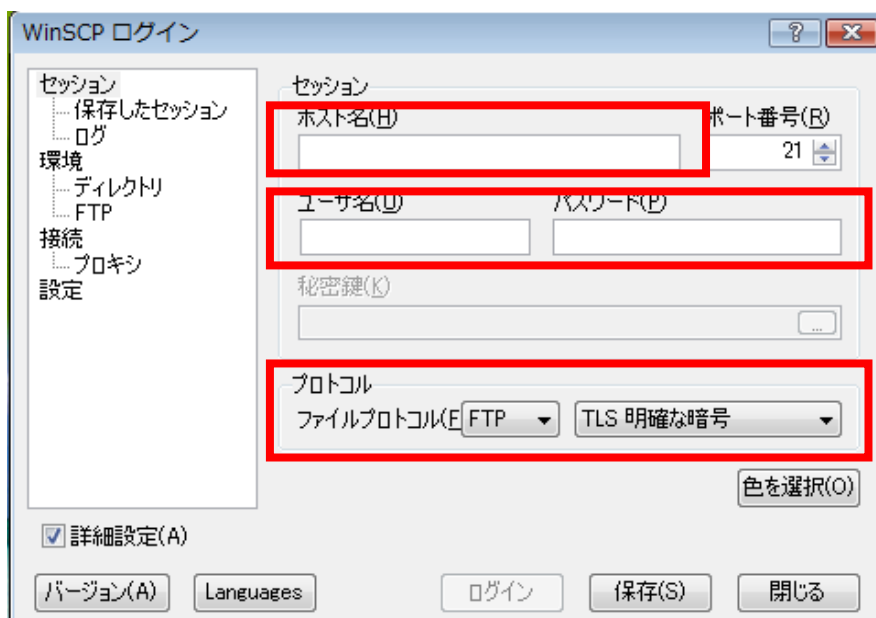
2. 左側のメニューから「セッション」を選択し、右側に以下の情報を設定します。設定後、左側のメニューの「接続」を選択します。

ホスト名 : 「お客様がご利用中のサーバ名」

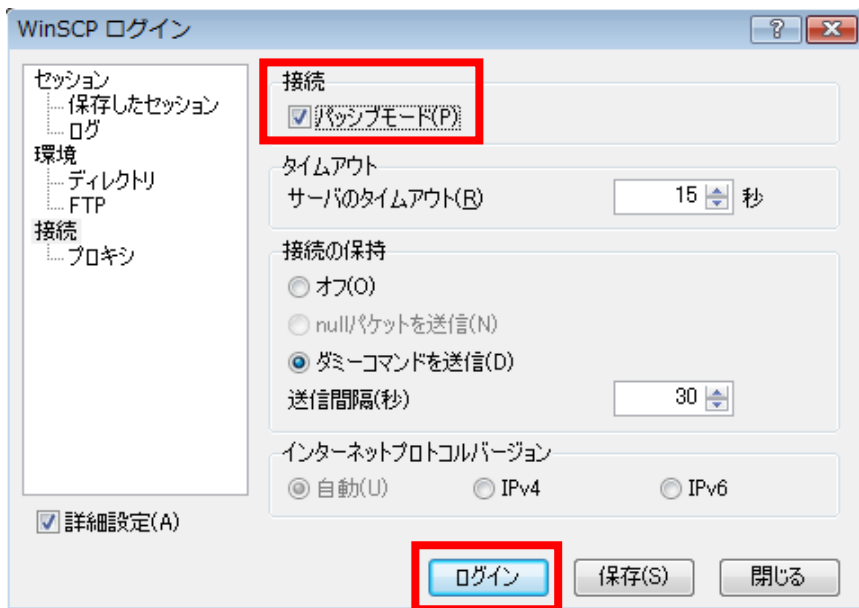
ユーザ名 : 「アカウント登録証に記載のもの」

パスワード : 「アカウント登録証に記載のもの、または、5文字以上 14文字以内の半角英数字  
でお客様が設定 (変更) されたもの」

プロトコル : 「FTP」、「TLS 明確な暗号」

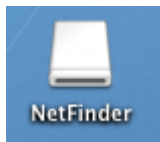


3. 「接続」の「パッシブモード」にチェックを入れます。その後、「ログイン」をクリックして設定完了です。



## 2-2-6. FTPソフトの設定方法 (Macintosh用: NetFinder)

1. インストール後にデスクトップにできるアイコンをクリックして、「NetFinder」を起動します。



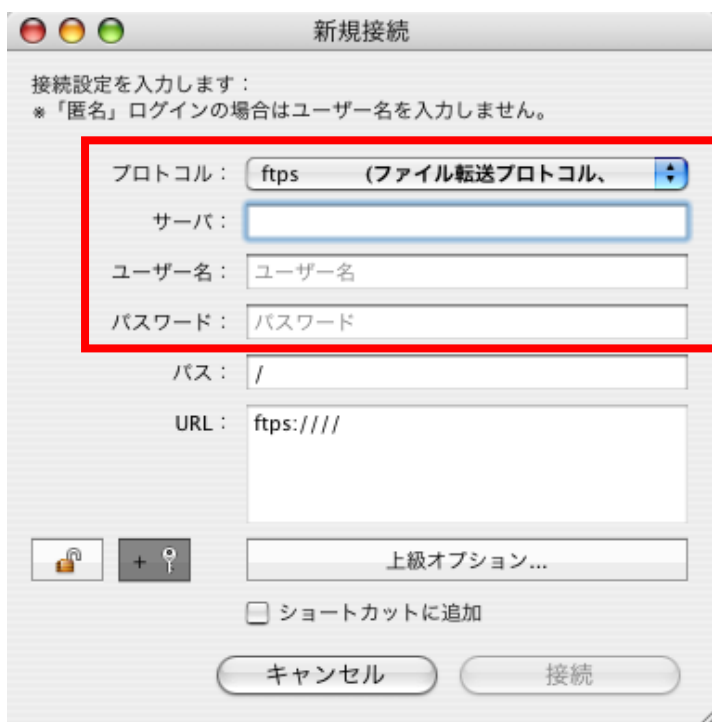
2. 「新規接続」に以下の情報を設定します。設定後、「接続」をクリックします。

プロトコル : ftps

サーバ : 「お客様がご利用中のサーバ名」

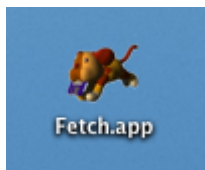
ユーザー名 : 「アカウント登録証に記載のもの」

パスワード : 「アカウント登録証に記載のもの、または、5文字以上14文字以内の半角英数字  
でお客様が設定(変更)されたもの」



## 2-2-7. FTP ソフトの設定方法 (Macintosh 用 : Fetch)

1. インストール後にデスクトップにできるアイコンをクリックして、「Fetch」を起動します。



2. 「新規接続」に以下の情報を設定します。設定後、「接続」をクリックします。

ホスト名 : 「お客様がご利用中のサーバ名」

ユーザー名 : 「アカウント登録証に記載のもの」

接続方式 : 「TLS/SSL による FTP」

パスワード : 「アカウント登録証に記載のもの、または、5 文字以上 14 文字以内の半角英数字  
でお客様が設定 (変更) されたもの」



## 2-3. ディレクトリ構造

管理者が FTPS でサーバに接続した際にアクセスできるディレクトリ構造は以下のようになっております。

ディレクトリ	パーミッション	主な用途
/ (ホームディレクトリ)		
+----- httpdocs	750 (rwxr-xr-x)	HTML、SSI (http 用)
+----- httpsdocs	755 (rwxr-xr-x)	HTML、SSI (https 用)
+----- cgi-bin	755 (rwxr-xr-x)	お客様作成の CGI
+----- private	700 (rwx-----)	非公開用のファイル置き場

各ディレクトリの用途は以下の通りです。

- ・ / (ホームディレクトリ)

お客様のディスク領域の一番上の階層となるディレクトリです。

なお、ホームディレクトリの絶対パスは、以下の通りとなります。

`/var/www/vhosts/ご利用のドメイン名`

- ・ /httpdocs

ホームページのコンテンツを置くディレクトリです (http 用)。HTML 及び SSI を使用したコンテンツを置くことができます。このディレクトリが、ホームページのドキュメントルートとなります。

- ・ /httpsdocs

ホームページのコンテンツを置くディレクトリです (https 用 : SSL)。HTML 及び SSI を使用したコンテンツを置くことができます。このディレクトリが、ホームページのドキュメントルートとなります。

また、お客様ご自身にて「.htaccess」を設置することにより、CGI が動作します。

- ・ /cgi-bin

お客様の CGI を置くディレクトリです。

- ・ /usr/bin/perl



- ・ /usr/bin/php  
PHP の実行パスです。
- ・ /usr/bin/ruby  
Rudy の実行パスです。
- ・ /usr/bin/python  
Python の実行パスです。
- ・ /usr/sbin/sendmail  
Sendmail の実行パスです。

## 2-4. パーミッション

### 2-4-1. パーミッションとは

パーミッションとは、ファイルやディレクトリに対するアクセス権限のことです。

マイサーバー S-100 では、自分以外の使用者に自分のファイルを不正に操作されない為に、ファイルに対してアクセスの権限を設定する事ができるようになっています。権限が与えられていない使用者は、そのファイルにアクセスすることができなくなります。

パーミッションの設定が正しく行なわれていないと、ファイルの内容を不正に見られたり、書き換えられたりしてしまう可能性が生じますのでご注意ください。

### 2-4-2. パーミッションの変更方法

パーミッションの変更は、FTPS、またはコントロールパネルにて行ないます。Telnet やシェルログインでサーバに接続することはできませんので、UNIX の chmod コマンドを入力してパーミッションを変更することはできません。

コントロールパネルから行なう場合、「ファイル」→「ファイルマネージャ」で、パーミッションを変更したいファイルのあるディレクトリをクリックし、その後、当該ファイルの「権限」をクリックして変更します。

### 2-4-3. パーミッションを変更しなければならないケース

パーミッションを変更する必要があるのは、主に CGI を使用する場合は、HTML や画像ファイル等の場合は、アップロード後のデフォルトのパーミッション (644) のままで問題ありませんので、変更する必要はありません。

### 2-4-4. 権限の種類

パーミッションの設定では、そのファイルの所有者 (Owner)、そのファイルの所有者と同じグループに属しているユーザ (Group)、及びその他の第三者 (Other) のそれぞれに対し、ファイルの内容を読み取る権限 (Read)、ファイルに内容を書き込んだり削除したりする権限 (Write)、及びファイルをプログラムとして実行する権限 (eXecute) を個別に設定することができます。

## 2-4-5. パーMISSIONの表記

パーMISSIONには、アルファベットと数字の2通りの表記方法があります。

アルファベットで表記する場合は、9桁のアルファベットで表記します。アルファベット表記の場合は、左の3桁が所有者、中央の3桁がグループ、右の3桁が第三者に対してのアクセス権を表します。例えば、所有者、グループ、及び第三者の全てに読み取り (r)、書き込み (w)、及び実行 (x) の権限を与えた状態は `rwrxrwxrwx` と表記されます。アクセス権限なしは `-` と表記します。

また、パーMISSIONを数字で表記する場合は、3桁の数字で表記します。数字はアルファベット表記の `r` を4、`w` を2、`x` を1、`-` を0と数え、対象のユーザごとにその数を合計したものになります。例えば、アルファベット表記で `rwrxrwxrwx` の状態は、数字表記で `777` と表記します。

## 2-4-6. 設定するパーMISSIONの値

マイサーバー S-100 のサーバでは、パーMISSIONを以下の値に設定してご利用下さい。

	設定する値
お客様が作成したディレクトリ	755 (rwrxr-xr-x)
HTML・画像ファイル等	644 (rw-r--r--)
CGIの実行ファイル	755 (rwrxr-xr-x)

なお、初期状態でサーバ上に作られているディレクトリのパーMISSIONは、本マニュアルの「ディレクトリ構造」に記載されています。これらのディレクトリのパーMISSIONは変更せずにそのままの状態をご利用下さい。

## 2-4-7. パーMISSIONによるセキュリティの確保

パーMISSIONが適切な値に設定されていないと、ファイルの内容を不正に見られたり書き換えられたりしてしまう可能性が生じます。セキュリティを高める為には、不要なアクセス権限を与えないことです。特に、第三者 (Other) に対してアクセス権を与えることは、セキュリティの低下につながりますのでご注意ください。

## 3. コントロールパネル

### 3-1. 概要

コントロールパネルは、サイト全体の管理を行なう為の管理ツールです。アカウントの管理、 ディスク容量の管理、及び Web・メールの各種設定を行なえます。

### 3-2. アクセス方法

ブラウザで以下のアドレスを開き、「ログイン ID」と「パスワード」を入力し、ログインします。最初の部分が「https」となる点と、ご利用のドメイン名の後に「:8443」を付けなければならない点にご注意下さい。

https://（お客様がご利用中のサーバ名）:8443/



© 1999-2013. Parallels IP Holdings GmbH. All rights reserved.

## 4. 電子メール

### 4-1. 機能

#### 4-1-1. 対応プロトコル

SMTP 及び POP3 に対応しています。

#### 4-1-2. 容量制限

アカウントごとに容量制限を設けることができます。容量制限はコントロールパネルで設定します。設定は、コントロールパネルにて、「メール」→「メールアカウントを作成する」→「メールボックスクォータ」から行ないます。

なお、送受信可能なメールサイズの制限は、1 通あたり 20MB までとなります。

#### 4-1-3. 迷惑メール対策

迷惑メール対策として、以下の機能が提供されています。

迷惑メールフィルタ (SpamAssassin)

設定はコントロールパネルにて、「メール」→「メールアカウントを作成する」→スパムフィルタタブを選択し、「このメールアドレスに対してアンチスパム保護を有効化」にチェックをし「OK」を押します。

#### 4-1-4. メールの転送機能

マイサーバー S-100 のサーバ内に作られたメールアドレスに届いたメールを任意の他のアドレスに転送させることができます。転送先は複数設定が可能です。

#### 4-1-5. 転送設定の方法

転送設定はコントロールパネルにて、「メール」→「転送」→「メール転送を有効にする」から行ないます。

#### 4-1-6. メール送信 (SMTP) の submission ポートへの対応

多くのインターネットプロバイダでは、スパムメールの対策として、Outbound Port25 Blocking というメール送信の規制を行なっています。ご利用のプロバイダがこの Outbound Port25 Blocking を実施している場合には、マイサーバー S-100 のサーバを利用して、メールの送信ができなくなる場合があります。

その為、マイサーバー S-100 では、この Outbound Port25 Blocking への対応として、メール送信 (SMTP) 時に submission ポート (Port 587) をご利用いただけます。

submission ポートを利用するには、メールソフトの設定変更が必要となる場合があります (一部、対応していないメールソフトもあります)。主なメールソフトの設定方法については、本マニュアル中にある電子メールの「設定・使用方法」をご参照下さい。

## 4-2. 設定/使用方法

### 4-2-1. 設定する情報

メールを送受信するには、メールソフトに以下の情報を設定します。

項目	設定内容
メールアドレス	使用するアカウントのメールアドレス （[アカウント名]@[ご利用のドメイン名]）
SMTP サーバ名	mail. ご利用のドメイン名
POP3 サーバ名	mail. ご利用のドメイン名
アカウント	使用するアカウント名
パスワード	入力したアカウントのパスワード

メールソフトにて「SMTP Auth」を使用する設定を行なって下さい。

SMTP Auth は、通常、認証が行なわれないメールの送信時にもアカウントとパスワードの認証を行なう方式です。SMTP Auth を用いることにより、マイサーバー S-100 のサーバの SMTP 利用制限を回避できます。SMTP 利用制限については、本マニュアル中にある電子メールの「制限事項」をご参照下さい。

### 4-2-2. メールソフトの設定方法

次より、主なメールソフトの設定方法については、以下にご案内しております。詳細は、ご利用のメールソフトのヘルプ、または製造元へお問い合わせをお願い申し上げます。

#### <Windows 用>

Outlook Express 6.0  
Outlook 2007  
Windows Live メール  
Thunderbird3.0

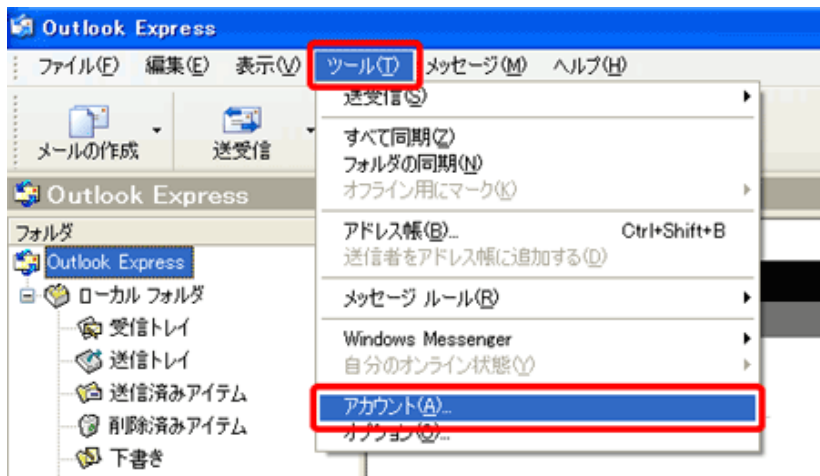
#### <Macintosh 用>

Mail 3.0  
Outlook Express 5.0

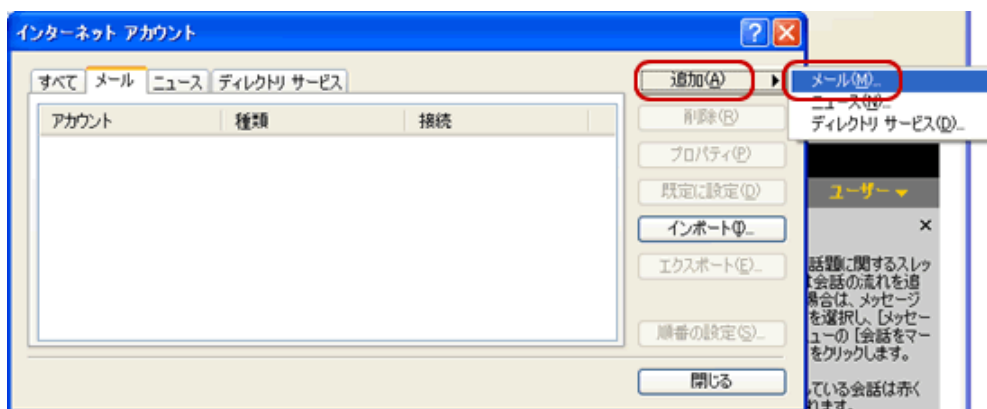
### 4-2-3. メールソフトの設定方法 (Windows用: Outlook Express 6.0)

1: OutlookExpress6.0 を起動します。

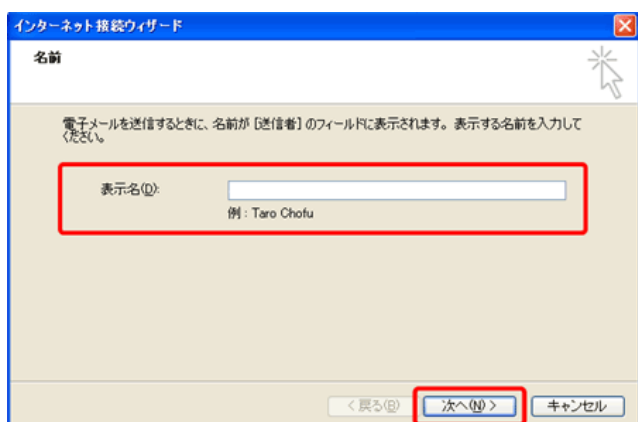
2: [ツール] - [アカウント] をクリックします。



3: [インターネットアカウント] の画面が表示されます。その後、[メール] のタブを開き、右上の [追加] をクリックして、その中の [メール] を選択します。



4: [インターネット接続ウィザード] の画面が表示されます。[表示名] は任意の名前を入力し、[次へ] をクリックします。



5: [電子メールアドレス] にメールアドレスを入力し、[次へ] をクリックします。

6: 送受信サーバ情報を入力します。

受信メールサーバーの種類: 「POP3」を選択します。

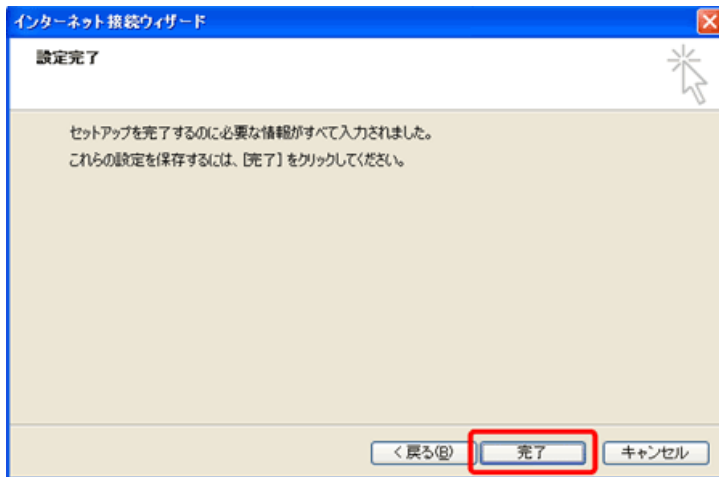
受信メールサーバー: 「mail. ご利用のドメイン名」を入力します。

送信メールサーバー: 「mail. ご利用のドメイン名」を入力します。

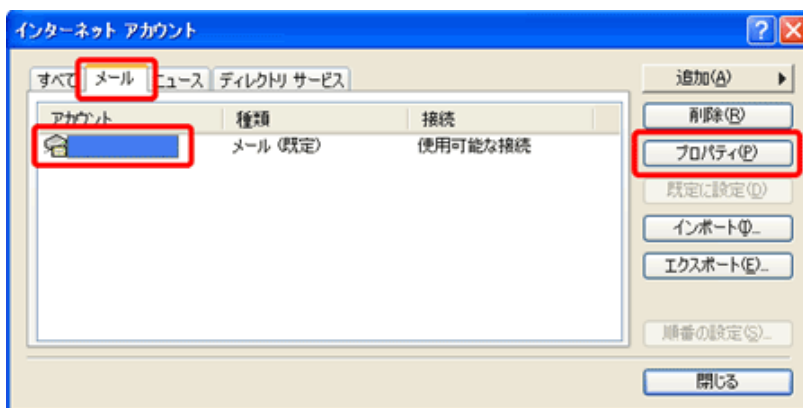
[次へ] をクリックします。

7: [インターネットメールログオン] の画面が表示されます。[アカウント名] 及び [パスワード] を入力し、パスワードを保存したい場合には、[パスワードを保存する] にチェックを入れます。[次へ] をクリックします。

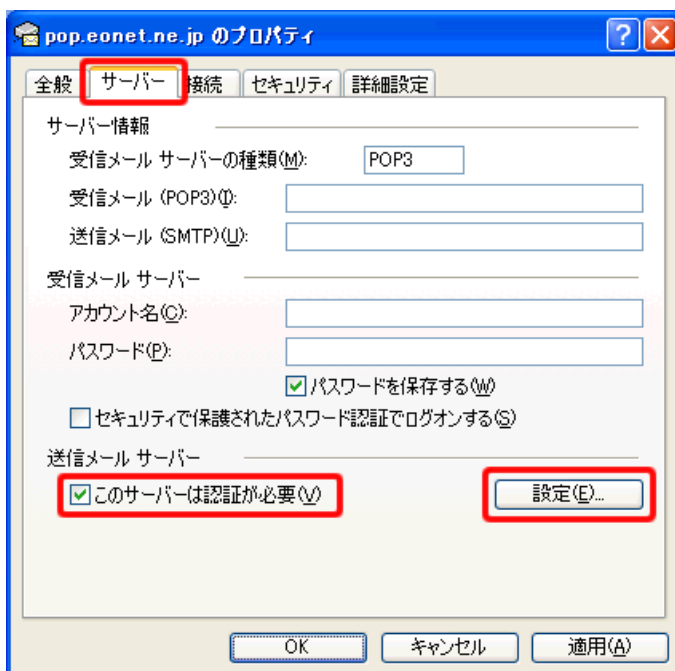
8: [完了] をクリックします。



9: 作成したアカウントを選択し、右側の [プロパティ] をクリックします。

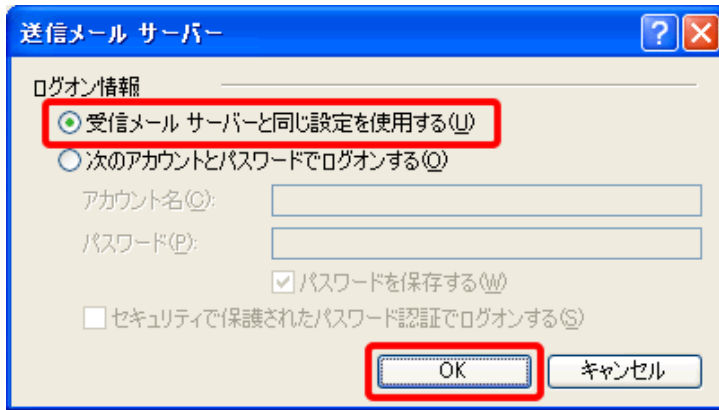


10: [サーバー] のタブをクリックします。[このサーバーは認証が必要] にチェックをし、[設定] をクリックします。

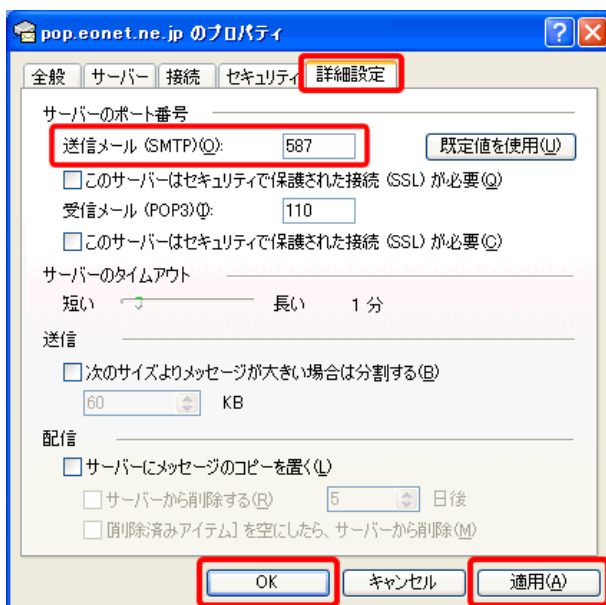




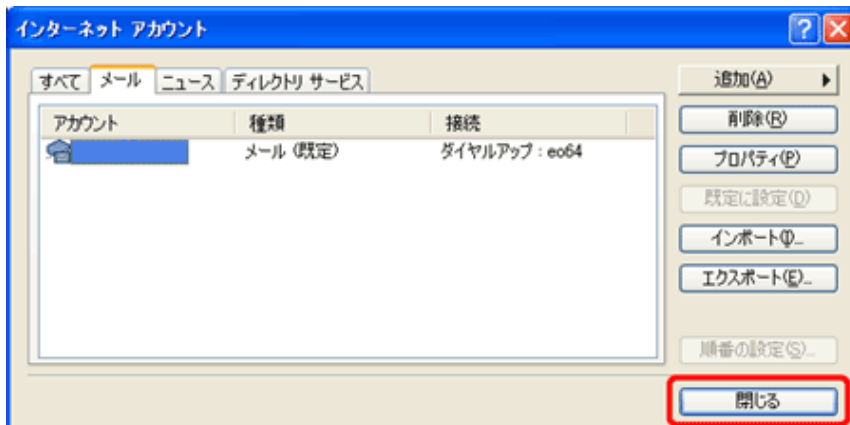
11 : [受信メールサーバーと同じ設定を使用する] を選択し、[OK] をクリックします。



12 : [詳細設定] のタブをクリックします。[送信メール (SMTP)] に「587」と入力し、[適用] - [OK] をクリックします。



13 : [インターネットアカウント] の画面に戻り、右下の [閉じる] をクリックして設定完了です。



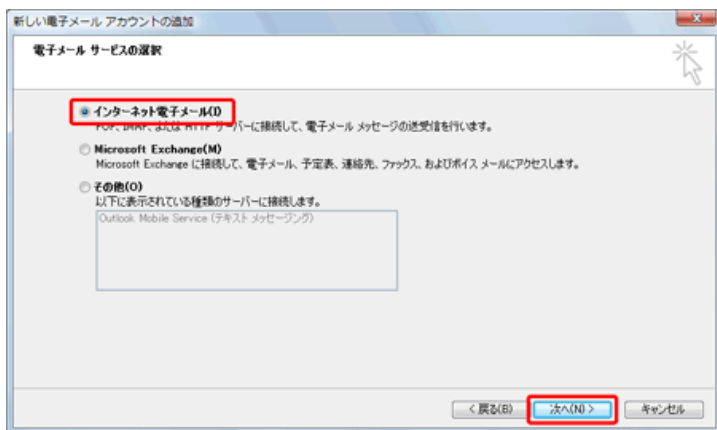
#### 4-2-4. メールソフトの設定方法 (Windows用: Outlook2007)

1: Outlook 2007 を起動します。

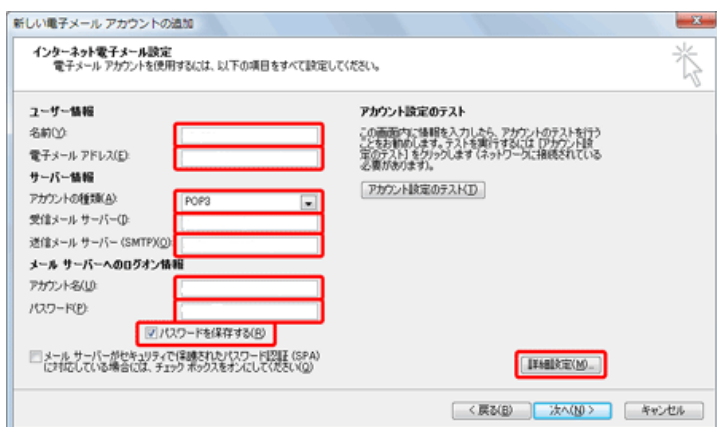
2: はじめて Outlook 2007 を起動した場合には、スタートアップ画面が表示されますので、[次へ] をクリックします。



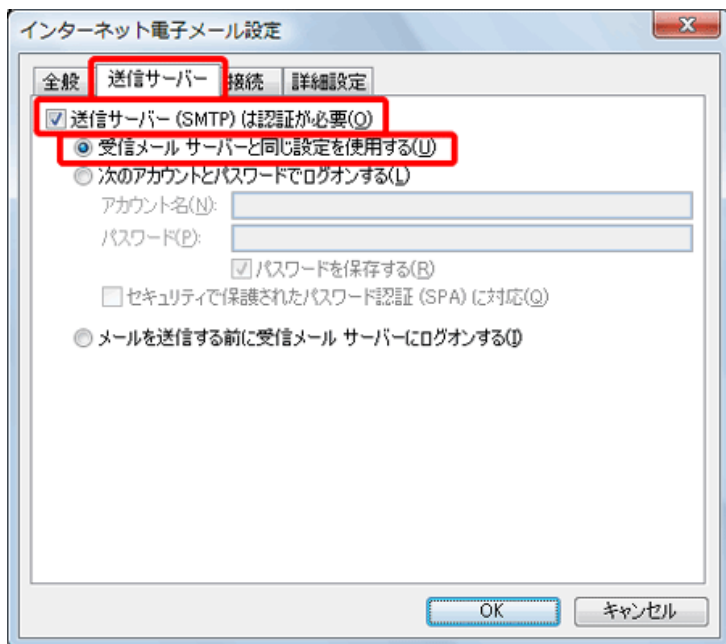
3: [インターネット電子メール] を選択し、[次へ] をクリックします。



4: [ユーザー情報]、[サーバー情報]、及び [メールサーバーへのログオン情報] を入力し、画面右下の [詳細設定] をクリックします。



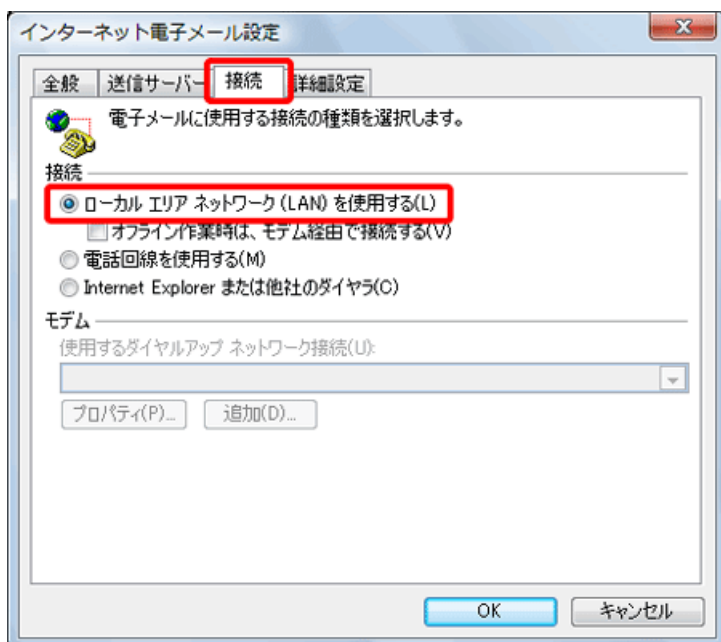
5: [送信サーバー] のタブをクリックします。[送信サーバー (SMTP) は認証が必要] をチェックし、[受信メールサーバーと同じ設定を使用する] を選択します。



6: [接続] のタブをクリックし、以下のように接続環境にあった設定を選択します。

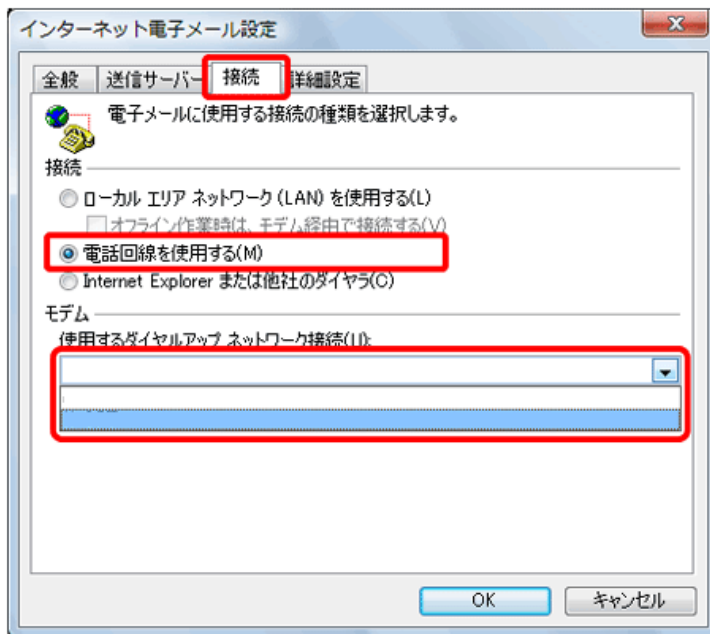
<ご利用の接続環境が ADSL・光ファイバー接続の場合>

[ローカル エリア ネットワーク (LAN) を使用する] をクリックし、[OK] ボタンをクリックします。

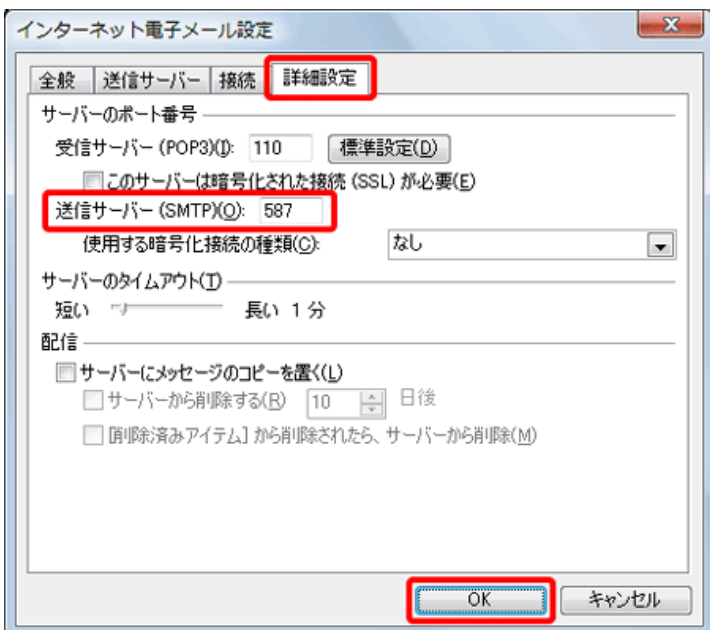


<ご利用の接続環境がダイヤルアップ接続の場合>

[電話回線を使用する]を選択し、[使用するダイヤルアップネットワーク接続]から送受信時に使用する接続先をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。



7: [詳細設定] のタブをクリックします。[送信サーバー (SMTP)] に「587」と入力し、[OK] をクリックします。



8: [次へ] をクリックします。

新しい電子メール アカウントの追加

インターネット電子メール設定  
電子メール アカウントを使用するには、以下の項目をすべて設定してください。

ユーザー情報  
名前(N):  
電子メール アドレス(E):

サーバー情報  
アカウントの種類(D): POP3  
受信メール サーバー(I):  
送信メール サーバー (SMTP)(O):

メール サーバーへのログイン情報  
アカウント名(U):  
パスワード(P):  
 パスワードを保存する(B)

アカウント設定のテスト(T)  
この画面での情報を入力したら、アカウントのテストを行うことをお勧めします。テストを実行するには、[アカウントのテスト] をクリックします (ネットワークに接続されている必要があります)。  
アカウント設定のテスト(T)

メール サーバーがセキュリティで保護されたパスワード (SPA) に対応している場合には、チェック ボックスをオンにしてください(Q)

詳細設定(M)...

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

9: [完了] をクリックし、設定完了です。

新しい電子メール アカウントの追加

セットアップの完了  
アカウントのセットアップに必要な情報がすべて入力されました。  
ウィザードを閉じるには、[完了] をクリックしてください。

< 戻る(B) **完了**

10: [電子メールアカウント]の画面に戻り、[閉じる]ボタンをクリックします。

アカウント設定

電子メール アカウント  
アカウントを追加または削除できます。また、アカウントを選択してその設定を変更できます。

電子メール | データファイル | RSS フィード | SharePoint リスト | インターネット予定表 | 公開予定表 | アドレス帳

新規(N) | 修復(R) | 変更(A) | 既定に設定(D) | 削除(M) | \* | \*

名前	種類
	POP/SMTP (送信で使用する既定のアカウント)

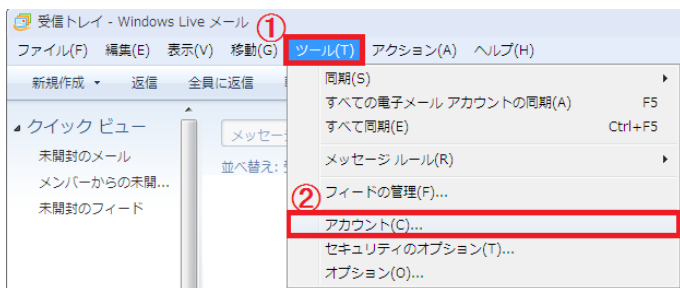
選択した電子メール アカウントでは、新しい電子メール メッセージを次の場所に配信します:  
フォルダの変更(F) | 個人用フォルダ受信トレイ  
データファイル

**閉じる(C)**

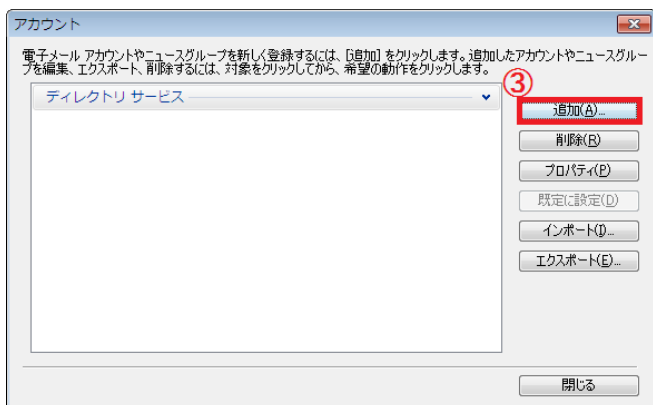
## 4-2-5. メールソフトの設定方法 (Windows 用 : WindowsLive メール)

1: WindowsLive メールを起動します。

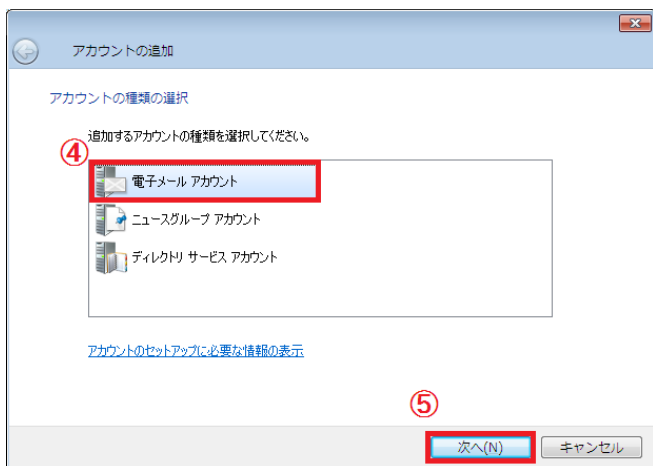
2. メニューバーの「ツール」をクリックし、表示されたメニューから「アカウント」を選択します。



3. アカウントの画面が表示されますので、「追加」ボタンをクリックします。



4. アカウントの追加画面が表示されますので、「電子メールアカウント」を選択の上、「次へ」ボタンをクリックします。



5. 以下の情報を設定します。

電子メールアドレス：使用するアカウントのメールアドレス（[アカウント名]@[ご利用のドメイン名]）

パスワード：入力したアカウントのパスワード

表示名：任意の名前

電子メール アカウントを追加する

電子メール アカウント情報を以下に入力してください。

電子メール アドレス(E)  例: example555@hotmail.com 無料・大容量 Hotmail作成

パスワード(P)   パスワードを保存する(B)

このアカウントから送信されたメールに差出人として表示する名前を入力してください(N)

表示名(N)  例: Taro Chofu

電子メール アカウントのサーバー設定を手動で構成する(O)

キャンセル

6. 送受信サーバ情報を入力します。

受信メールサーバーの種類：「POP3」を選択します。

受信サーバー：「mail. ご利用のドメイン名」を入力します。

ログインに使用する認証：「クリアテキスト認証」を選択します。

ログイン ID：使用するアカウントのメールアドレス（[アカウント名]@[ご利用のドメイン名]）

送信サーバー：「mail. ご利用のドメイン名」を入力します。

ポート（送信サーバー）：「587」へ変更します。

送信サーバーは認証が必要：チェックします。

電子メール アカウントを追加する

電子メール サーバーの情報について

11 受信サーバー情報

受信メール サーバーの種類(M)

受信サーバー(O)  ポート(P)

このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要(L)

ログインに使用する認証(U)

ログイン ID (電子メール アドレスと異なる場合)(L)

12 送信サーバー情報

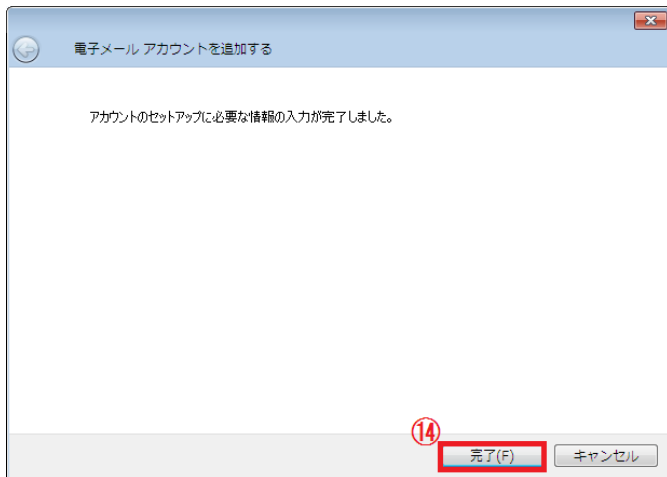
送信サーバー(O)  ポート(P)

このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要(O)

送信サーバーは認証が必要(U)

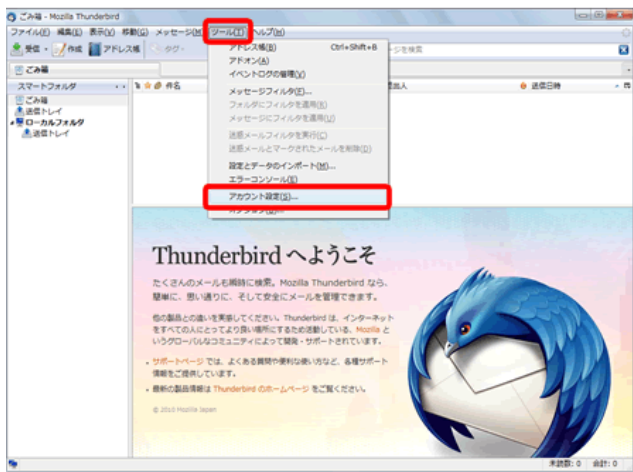
キャンセル

7. 「完了」ボタンをクリックし、設定は完了です。

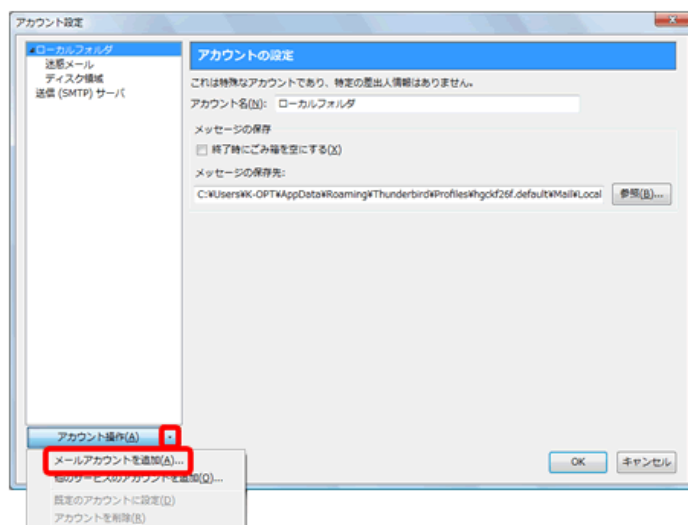


#### 4-2-6. メールソフトの設定方法 (Windows 用 : Thunderbird3.0)

1. Thunderbird3.0 を起動し、「ツール」→「アカウント設定」をクリックします。



2. アカウント設定の画面の左下にある「アカウント操作」から、「メールアカウントを追加」を選択します。





3. 以下の情報を設定します。入力が完了したら、「続行」ボタンをクリックします。

あなたの名前：任意の名前

メールアドレス：使用するアカウントのメールアドレス（[アカウント名]@[ご利用のドメイン名]）

パスワード：入力したアカウントのパスワード

メールアカウント設定

あなたの名前(N): 任意の名前を入力 受信者に表示される名前です。

メールアドレス(L): メールアドレスを入力

パスワード(P): ●●●●●●●●

パスワードを記憶する(M)

キャンセル(A) 続行(C)

4. Thunderbird3.0 が、自動的にメールアカウントの設定を行なおうとしますので、「中止」をクリックします。

メールアカウント設定

あなたの名前(N): 受信者に表示される名前です。

メールアドレス(L):

パスワード(P): ●●●●●●●●

パスワードを記憶する(M) [はじめからやり直す\(O\)](#)

Thunderbird があなたのメールアカウントの設定を検索しています。

ユーザ名:  **中止(S)**

受信サーバ: IMAP 接続の保護なし

送信サーバ: SMTP 接続の保護なし

キャンセル(A) アカウント作成(C)

5. 送受信サーバ情報を入力し、「設定を再テスト」をクリックします。

ユーザ名：使用するアカウントのメールアドレス（[アカウント名]@[ご利用のドメイン名]）

受信サーバ：「mail. ご利用のドメイン名」を入力します。

受信方式：「POP3」を選択します。

送信サーバ：「mail. ご利用のドメイン名」を入力します。

SMTP：「587」を入力します。

メールアカウント設定

あなたの名前(N): 受信者に表示される名前です。

メールアドレス(L):

パスワード(P): ●●●●●●●●

パスワードを記憶する(M) [はじめからやり直す\(O\)](#)

Thunderbird はあなたのメールアカウントの設定を見つけられませんでした。

ユーザ名: メールアドレス **設定を再テスト(S)**

受信サーバ: 受信メールサーバ名 POP 110 接続の保護なし

送信サーバ: 送信メールサーバ名 SMTP 587 接続の保護なし

詳細設定(S)... キャンセル(A) アカウント作成(C)

6. 「アカウント作成」をクリックします。



7. 「接続する上での危険性を理解しました」をチェックし、「アカウント作成」のボタンをクリックします。

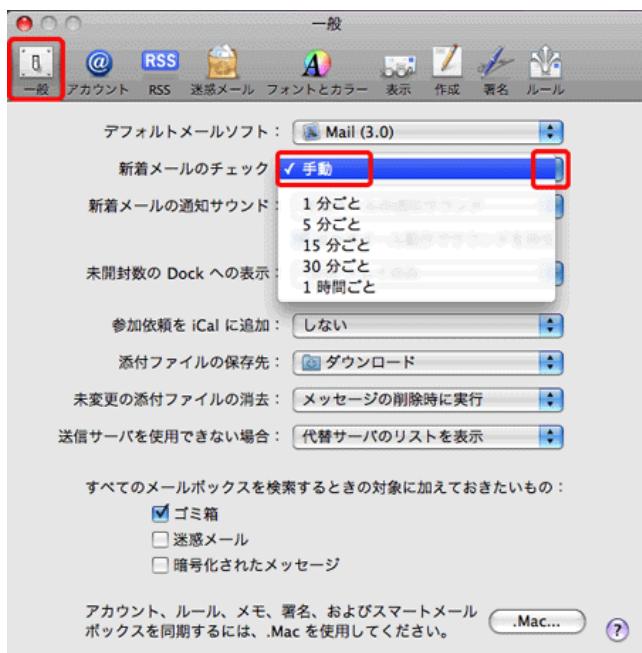


#### 4-2-7. メールソフトの設定方法 (Macintosh 用: Mail 3.0)

1. 案内に従って、「氏名」、「メールアドレス」、及び「パスワード」を入力し、「続ける」をクリックします (初回起動時のみ表示されますので、4.へ進みます)。



2. 「一般」をクリックし、「新規メールのチェック」の上下矢印をクリックし、プルダウンメニューから「手動」をクリックして選択します。



3. 「アカウント」をクリックし、「+」をクリックします。



4. 以下の情報を設定し、入力が終わったら「続ける」をクリックします。

氏名：任意の名前

メールアドレス：使用するアカウントのメールアドレス（[アカウント名]@[ご利用のドメイン名]）

パスワード：入力したアカウントのパスワード

アカウントを追加  
追加のメールアカウントを設定するために必要な手順をご案内します。  
はじめに、次の情報を入力してください：

氏名：

メールアドレス：

パスワード：

キャンセル 戻る 続ける

5. 受信用メールサーバの設定を行いません。入力が終わったら、「続ける」をクリックします。

アカウントの種類：POP を選択します。

説明：任意の名前

受信用メールサーバ：mail. ご利用のドメイン名

メールアドレス：使用するアカウントのメールアドレス（[アカウント名]@[ご利用のドメイン名]）

パスワード：入力したアカウントのパスワード

受信用メールサーバ

アカウントの種類：

説明：

受信用メールサーバ：

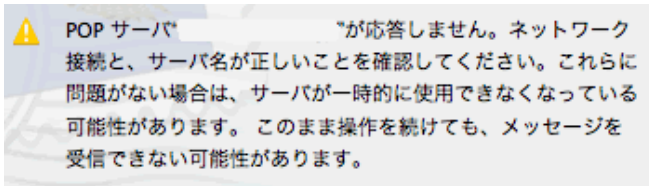
ユーザ名：

パスワード：

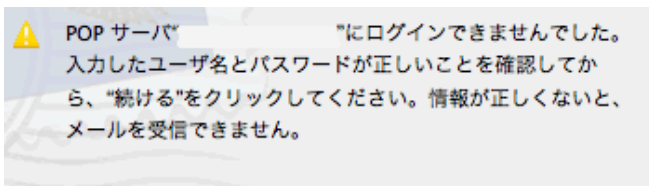
キャンセル 戻る 続ける

<<注意>>

上記の 5. で「続ける」をクリックすると、POP サーバへの接続を開始する為、接続や設定の状態によっては、以下のようなエラーが表示される場合があります。



「POP サーバ（入力したサーバ名）が応答しません。」と表示される場合は、インターネットに接続ができていないか、「受信用メールサーバ」に入力したサーバ名が間違っている可能性が考えられます。



「POP サーバ（入力したサーバ名）にログインできませんでした。」と表示される場合は、入力した「ユーザ名」または「パスワード」のいずれかが間違っている可能性が考えられます。

6. 「SSL (Secure Sockets Layer) を使用」のチェックが外れていることを確認し、「続ける」をクリックします。



<<注意>>

6. のこの画面は、5. で正常に POP サーバへの接続ができた場合には表示されません。

7. 送信用メールサーバの設定を行ないます。入力が終わったら、「続ける」をクリックします。

送信用メールサーバ：mail. ご利用のドメイン名

メールアドレス：使用するアカウントのメールアドレス（[アカウント名]@[ご利用のドメイン名]）

パスワード：入力したアカウントのパスワード



<<注意>>

上記で「続ける」をクリックすると STMP サーバへの接続を開始する為、接続や設定の状態によってはエラーが表示される場合があります。このような場合は、再度「続ける」をクリックして、設定を続けて下さい。

8. 「SSL (Secure Sockets Layer) を使用」のチェックが外れていることを確認し、「続ける」をクリックします。



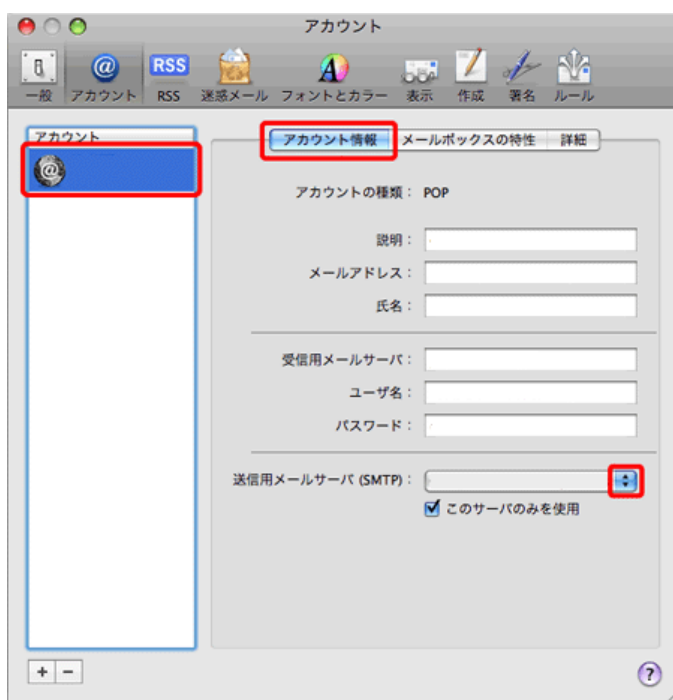
<<注意>>

8. この画面は、7. で正常に SMTP サーバへの接続ができた場合には表示されません。

9. 「アカウントをオンラインにする」のチェックが外れていることを確認し、「作成」をクリックします。



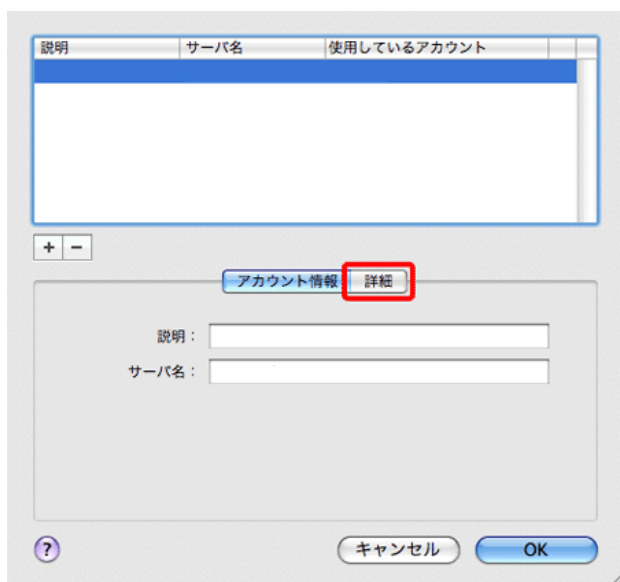
10. 先程、作成したアカウントの「アカウント情報」のタブが表示されていることを確認し、「送信用メールサーバ (SMTP)」の上下矢印をクリックします。



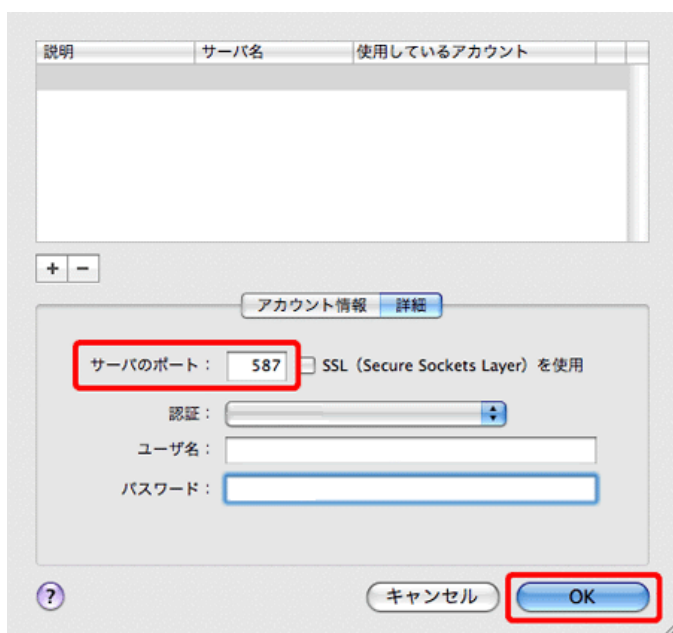
11. プルダウンメニューから「サーバリストを編集」をクリックして選択します。



12. サーバリストの編集画面が表示されますので、「詳細」をクリックします。

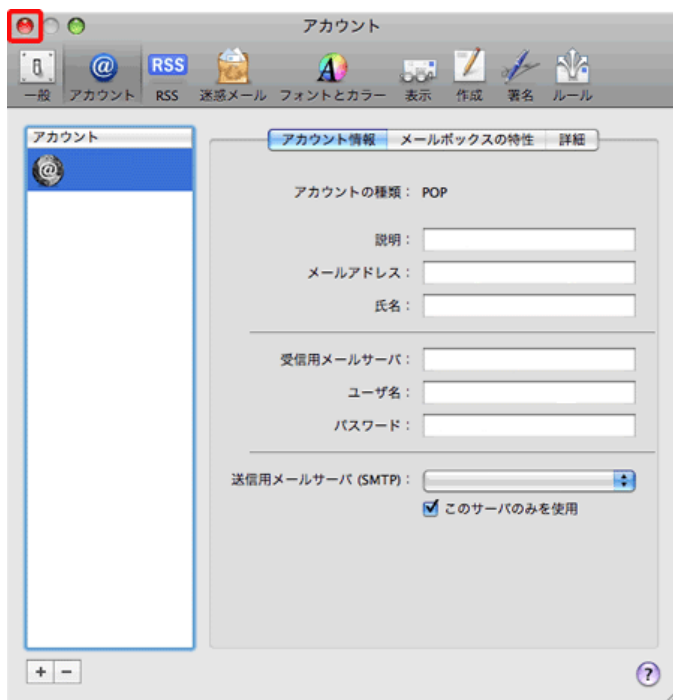


13. 「サーバのポート」に「587」を入力し、入力が終わったら「OK」をクリックします。

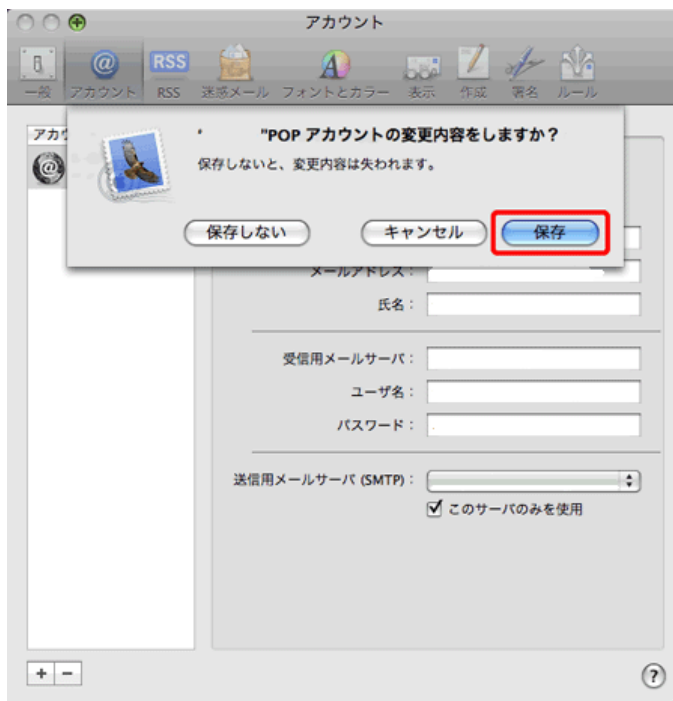




14. クローズボックスをクリックし、メールの環境設定の画面を閉じます。

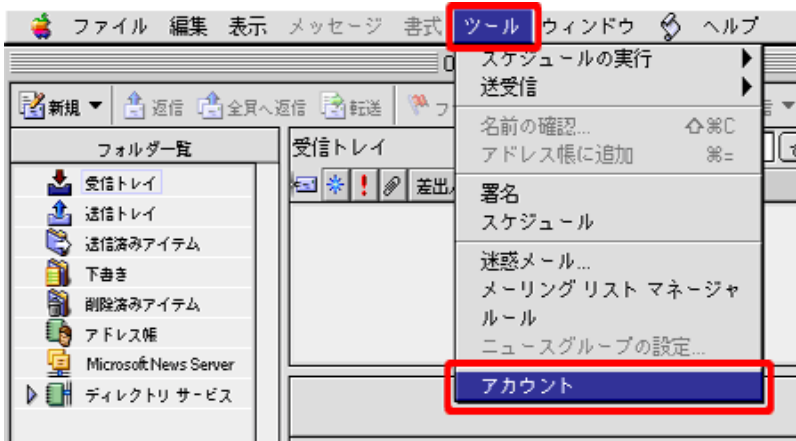


15. 変更内容を保存するか確認のメッセージが表示されますので、「保存」をクリックします。これで新規設定は完了です。



#### 4-2-8. メールソフトの設定方法 (Macintosh用: Outlook Express 5.0)

1. Outlook Express 5.0 を起動し、メニューバーより「ツール」→「アカウント」を選択します。



2. 「アカウント」画面で「新規」をクリックします。



3. 「アカウント設定アシスタント」の「あなたの名前」画面が表示されます。「表示名」に任意の名前を入力します。入力後、画面右下の「右矢印ボタン」をクリックします。

アカウント設定アシスタント

あなたの名前

メッセージを送信すると、“着出入”のところに名前が表示されます。表示したい名前を入力してください(半角カナ文字は使用しないでください)。

表示名:

例:

右向き矢印をクリックして進んでください。

アカウントを手動で設定する

4. 「インターネット電子メールアドレス」画面で、以下の情報を設定します。入力後、画面右下の「右矢印ボタン」をクリックします。

「すでに持っている電子メールアドレスを使う」: チェックを入れます。

「電子メールアドレス」: アカウントのメールアドレス ([アカウント名]@[ご利用のドメイン名])

アカウント設定アシスタント

インターネット電子メールアドレス

電子メールのアドレスは、ほかのユーザーがあなたに電子メールを送信するために使います。

すでに持っている電子メール アドレスを使う

電子メール アドレス:

例: someone@microsoft.com

新しい Hotmail のアカウントを申し込む

右向き矢印をクリックして進んでください。

アカウントを手動で設定する

5. 「電子メール サーバー名」画面で、以下の情報を設定します。入力に誤りがないことを確認し、画面右下の「右矢印ボタン」をクリックします。

「電子メールサーバーの種類」: 「POP」を選択します。

「受信メールサーバー」: 「mail. ご利用のドメイン名」を入力します。

「送信メールサーバー」: 「mail. ご利用のドメイン名」を入力します。

アカウント設定アシスタント

電子メール サーバー名

電子メールにはさまざまな通信手段があります。登録しているインターネットサービスプロバイダの、電子メールサーバーの種類を選んでください。現在、ほとんどのプロバイダでPOPサーバーが使用されています。

電子メールサーバーの種類: POP サーバー

受信メール (POP, IMAP) サーバー:

送信メール (SMTP) サーバー:

右向き矢印をクリックして進んでください。

アカウントを手動で設定する

6. 「インターネットメールログオン」画面で、以下の情報を設定します。入力に誤りがないことを確認し、画面右下の「右矢印ボタン」をクリックします。

「アカウント ID」: メールアドレスの@から左の部分を入力します。

「パスワード」: メールパスワードを入力します。

アカウント設定アシスタント

インターネット メール ログオン

ご利用のインターネットサービスプロバイダから通知された、アカウントIDとパスワードを入力してください。

アカウント ID:

参考: アカウントIDは、電子メールアドレスとは異なります。通常、電子メールアドレスのアットマーク (@) の前の部分です。

パスワード: ●●●●●●

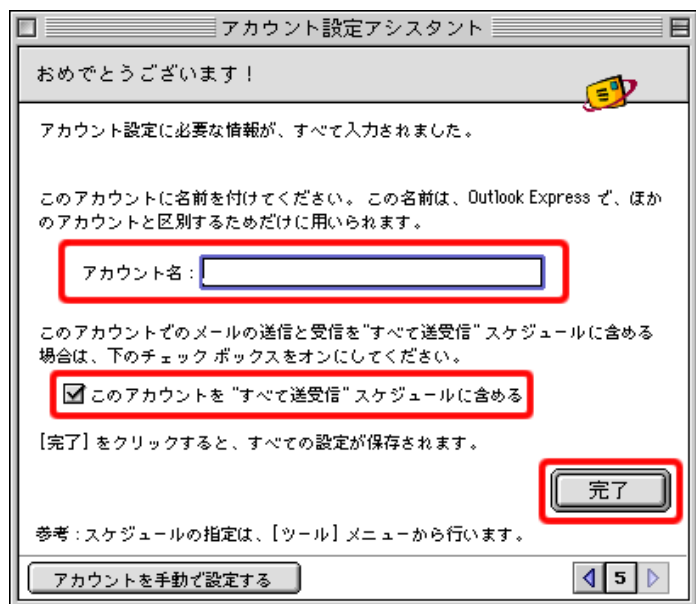
パスワードを保存する

参考: 新着メールを確認する際にパスワードの入力を省略する場合は、上のチェックボックスをオンにします。

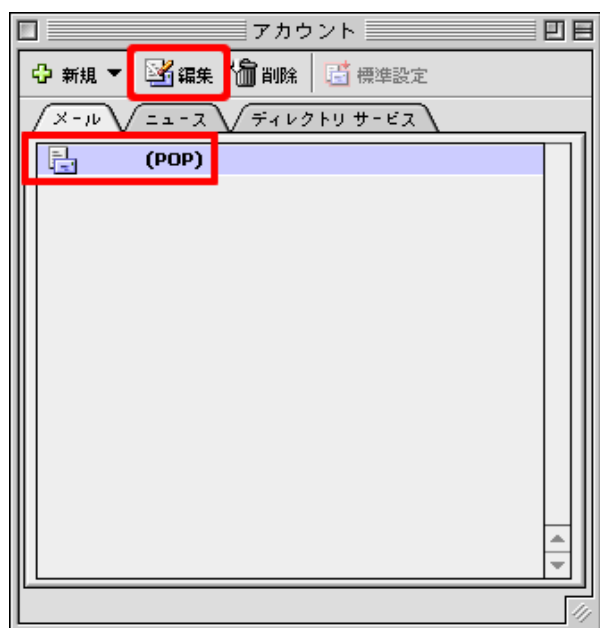
右向き矢印をクリックして進んでください。

アカウントを手動で設定する

7. 「おめでとうございます！」画面が表示されます。「アカウント名」にメールアドレスを入力し、「完了」ボタンをクリックします。



8. 「アカウント」画面で「メール」タブに設定したアカウントが表示されますので、選択し「編集」をクリックします。



9. 「アカウントの編集」画面で、「メールの送信」欄の「ここをクリックして詳細な送信オプションを指定」をクリックします。

アカウントの編集

アカウントの設定 オプション

アカウント名:

このアカウントを「すべて送受信」スケジュールに含める

個人情報

名前:

メールアドレス:

メールの受信

アカウント ID:

POP サーバー:

パスワードの保存:

[ここをクリックして詳細な受信オプションを指定](#)

メールの送信

SMTP サーバー:

[ここをクリックして詳細な送信オプションを指定](#)

キャンセル OK

10. 表示された画面で、以下の情報を設定します。入力に誤りがないことを確認し、左上のボタンをクリックします。「アカウントの編集」画面に戻ったら、「OK」ボタンをクリックして画面を閉じます。

「次の SMTP ポートを使用する」: チェックを入れ、「587」と入力します。

「SMTP サーバーで認証を必要とする」: チェックを入れます。

「メールサーバと同じ設定を使用する」: チェックを入れます。

この SMTP サービスは保護された接続 (SSL) が必要

次の SMTP ポートを使用する:

SMTP サーバーで認証を必要とする

メールサーバと同じ設定を使用する

次のアカウントでログオンする

アカウント ID:

パスワード:

パスワードの保存

不確定アドレス用のドメイン:

## 4-3. 制限事項

### 4-3-1. SMTP 利用制限

「SMTP Auth」による SMTP 利用制限を行なっております。SMTP 利用制限を回避することにより、マイサーバー S-100 のサーバを SMTP サーバとして利用し、メールを送信することができます。

その為には、メールソフトに「SMTP Auth」を使用する設定を行なっていただく必要があります。主なメールソフトの「SMTP Auth」の設定方法については、本マニュアル中にある電子メールの「設定・使用方法」をご参照下さい。

### 4-3-2. メールサイズの制限

1 通の容量が 20MB を超えるメールは送受信できません。

マイサーバー S-100 をご利用のお客様が、20MB 以上の容量のメールを送信しようとした場合、送信時にクライアント側のメールソフトにエラーが返信されます。また、マイサーバー S-100 をご利用のお客様宛に 20MB 以上の容量のメールが送られて来た場合、メールの送信者宛にサーバからエラーメールが返送されます。この時、マイサーバー S-100 をご利用のお客様宛にはエラーは届きませんのでご注意ください。

## 4-4. Web メール

### 4-4-1. 概要

マイサーバー S-100 では、Web メールとして「Horde」がインストールされております。Web メールをご利用いただくことで、マイサーバー S-100 でご利用のアカウントを用いて、ブラウザ上からメールの送受信を行なうことができます（携帯電話からのアクセスには非対応となっております）。

その為、インターネットへの接続環境がある場所ならば、どちらからでもメールの送受信がご利用いただけます。

### 4-4-2. Web メールへの接続方法

ブラウザに以下の URL を入力し、「Horde」へのログイン画面を開きます。「ユーザ名」と対応した「パスワード」を入力し、ログインします。

[http://webmail.ご利用のドメイン名 /services/portal/index.php](http://webmail.ご利用のドメイン名/services/portal/index.php)

ユーザー名  
パスワード  
モード  
自動  
言語  
Japanese (日本語)  
ログイン

powered by horde

## 5. ホームページ

### 5-1. 機能

#### 5-1-1. Web サーバソフト

Web サーバソフトは、Apache のバージョン 2.2 系となります。

#### 5-1-2. 対応プロトコル

HTTP と HTTPS (SSL) に対応しています。HTTPS のご利用については、SSL はオプションサービス (SSL ライセンス購入及び SSL 証明書申請・設定代行料金) が必要となっております。詳しくは、サービス Web の「SSL オプションサービスのご案内 ([http://www.rim.or.jp/my\\_server/option/ssl.html](http://www.rim.or.jp/my_server/option/ssl.html))」をご覧ください。

#### 5-1-3. 対応コンテンツ

各種コンテンツへの対応状況は、以下の通りです。

HTML	○	JavaScript	○
Java アプレット	×	Java サブレット	×
スタイルシート	○	CGI	○
SSI	○	PHP	○
Flash	○	ASP (Active Server Pages)	×
JSP (Java Server Pages)	×	FrontPage Server Extensions	×
データベース (MySQL)	○	データベース (phpMyAdmin)	○

#### 5-1-4. ドキュメントルート

ドキュメントルートは、ホームページの一番上の階層として見えるディレクトリです。マイサーバ S-100 では、HTTP の場合には /httpdocs、HTTPS (SSL) の場合には /httpsdocs がドキュメントルートに設定されています。管理者は、ドキュメントルートにホームページのデータを置くことができます。

なお、ディレクトリの構造については、本マニュアルの「ディレクトリ構造」をご参照下さい。

#### 5-1-5. URL

ホームページのコンテンツをブラウザで表示させる際の URL は、以下のようになります。

ディレクトリ	URL
/httpdocs	<a href="http://(ドメインまたはIPアドレス)/(ファイル名)">http:// (ドメインまたは IP アドレス) / (ファイル名)</a>
/httpsdocs	<a href="https://(ドメインまたはIPアドレス)/(ファイル名)">https:// (ドメインまたは IP アドレス) / (ファイル名)</a>
/cgi-bin	<a href="http://(ドメインまたはIPアドレス)/cgi-bin/(ファイル名)">http:// (ドメインまたは IP アドレス) /cgi-bin/ (ファイル名)</a>



## 5-1-6. Web アクセス制限機能

「.htaccess」を設置することにより、ID・パスワードでの認証やアクセス元の制限での Web アクセス制限を行なうことができます。具体的な「.htaccess」の使用方法については、書籍やホームページ等をご参考に、お客様の責任においてご利用下さい。

また、コントロールパネルからも同様のことを行なうことができます。コントロールパネルから、「ファイル」→「パスワード保護ディレクトリ」→「保護ディレクトリの追加」をクリックし、新しい保護ディレクトリを作成します。

## 5-1-7. SSL オプションの対応プロトコル

マイサーバー S-100 の SSL 機能は、HTTPS プロトコル（ホームページ）に対してのみ有効となっています。

## 5-2. 設定/使用方法

### 5-2-1. コンテンツ設置方法

ホームページのコンテンツは、以下の手順で設置します。

1. お客様のコンピュータ上で、ホームページのコンテンツを作成します。

トップページとなるファイルのファイル名は「index.html」、「index.htm」、「index.shtml」、「index.php」のいずれかとします。

2. FTPS でサーバに接続します。

接続設定については、本マニュアル中にあるファイル転送の「設定・使用方法」をご参照下さい。

3. コンテンツを設置するディレクトリに、作成したコンテンツを転送して下さい。

http の場合には、/httpdocs ディレクトリへ、https (SSL) の場合には、/httpsdocs ディレクトリへファイルを転送して下さい。

4. ブラウザで転送したファイルを表示させ、正しく転送されていることを確認します。

転送されたファイルは、以下のアドレスで参照できます (http の場合)。

http:// (ドメインまたは IP アドレス) / (ファイル名)

https (SSL) の場合は、以下のアドレスで参照できます。

https:// (ドメインまたは IP アドレス) / (ファイル名)

なお、ディレクトリ配下に「index.html」もしくは「index.htm」が設置されていない場合、または、ファイルのパーミッションに問題がある場合には、エラーが表示されます。

パーミッションについては、本マニュアル中にあるファイル転送の「パーミッション」をご参照下さい。

## 5-3. CGI・PHP・SSI

### 5-3-1. 概要

CGI・PHP・SSIにより、HTMLのみでは実現できないアクティブなコンテンツを作成することができます。これらの仕組みを利用すると、掲示板、アクセスカウンタ、メールフォーム等をホームページ上に設置できます。

マイサーバー S-100 では、お客様が作成された CGI・PHP・SSI や、インターネット上で配布されている CGI 等を自由に設置して使うことができます。

### 5-3-2. ファイルの設置ディレクトリ

CGI・PHP・SSI を設置できるディレクトリは、それぞれ以下の通りです。ディレクトリにより使えるコンテンツが異なりますのでご注意ください。

	/httpdocs (http) /httpsdocs (https)	/cgi-bin
CGI	○	○
PHP (Apache モジュールモード)	○	×
SSI	○	×

### 5-3-3. CGI

CGI の言語は、Perl に対応しています。

/httpdocs (http)、/httpsdocs (https) ディレクトリ内に CGI を置く場合、CGI の実行ファイル（プログラムファイル）の拡張子を「.cgi」にする必要があります。「.cgi」以外の拡張子のファイルは CGI として実行されません。

/cgi-bin ディレクトリ内では、全てのファイルが CGI の実行ファイルとして扱われます。

### 5-3-4. PHP

PHP の動作形式として、Apache モジュールモードがあります。Apache モジュールモードの PHP は HTML ファイルの中に PHP スクリプトを書くだけで動作します。

Apache モジュールモードの PHP の場合、/httpdocs (http)、/httpsdocs (https) ディレクトリ内に置く PHP ファイルの拡張子を「.php」として下さい。

なお、エラーはブラウザには表示されません（ソースコードがそのまま表示されます）。

### 5-3-5. SSI

SSI は、/httpdocs (http) 及び/httpsdocs (https) ディレクトリ内で使用することができます。/cgi-bin ディレクトリでは SSI を使用することはできません。

SSI ファイルの拡張子は、「.shtml」として下さい。

### 5-3-6. Sendmail の利用

マイサーバー S-100 では、MTA として qmail を使用しております。CGI から sendmail を使う場合、実際には sendmail コマンド互換の qmail の sendmail ラッパーが呼び出されます。

この為、純正 sendmail の一部のコマンドラインオプションが利用できない場合があります。

正常な動作を確認しているのは「-t」オプションのみとなります。

### 5-3-7. Perl のモジュール

マイサーバー S-100 にインストールされている Perl モジュールについては、サービス Web の「開発言語のモジュールについて ([http://www.rim.or.jp/my\\_server/service/module.html](http://www.rim.or.jp/my_server/service/module.html))」をご参照下さい。各モジュールの使用方法及び記述方法についてはサポート外となりますので、ご了承の上、ご利用下さいますようお願い申し上げます。

また、お客様のご利用環境により、正常に動作しない場合があります。

## 5-4. ログファイル

### 5-4-1. 種類

ホームページ関連のログとしては、コントロールパネルの「統計」→「ログマネージャ」から、Web のアクセスログとエラーログを見ることができます。Web アクセスログと Web エラーログは、Apache が出力したテキスト形式の生ログとなります。

また、マイサーバー S-100 に標準インストールされているアクセス解析ソフトである「Webalizer」を使うことにより、アクセスログを集計し HTML 形式で 統計情報を表示することができます。

### 5-4-2. 保存期間

生ログのログファイルは、1 年分がサーバに保存されます。日数が経過したログファイルはサーバから自動的に削除され、参照することはできなくなります。

## 6. メーリングリスト

### 6-1. 機能

#### 6-1-1. アドレス

メーリングリストのアドレスは、[メーリングリスト名]@[お客様ドメイン]となります。作成されているメールアドレスと同じ名前のメーリングリストは作成できません。

### 6-2. 設定/使用方法

#### 6-2-1. メーリングリストの管理

メーリングリストの作成は、コントロールパネルの「メール」→「メーリングリスト」→「メーリングリストの作成」で行ないます。

作成したメーリングリストへメンバの追加を行なう場合には、コントロールパネルの「メール」→「メーリングリスト」→「メーリングリスト名」をクリックし、「ML メンバー」に追加メールアドレスを入力します。また、メンバを削除する場合には、「メール」→「メーリングリスト」→「メーリングリスト名」と進み、「ML メンバー」からアドレスを削除します。

なお、作成したメーリングリストを削除する場合には、「メール」→「メーリングリスト」と進み、削除するメーリングリスト名に対応するチェックボックスを選択し、「削除」をクリックします。

#### 6-2-2. メーリングリストへの投稿

メーリングリストに情報を投稿するには、そのメーリングリストのメールアドレスへメールを送信します。当該メーリングリストに登録されている全てのメンバが受信することができます。

**マイサーバーサービス 利用マニュアル**  
**マイサーバー S-100**

発行元：株式会社イージェーワークス

発効日：2013年10月25日 ver2.0

**リムネット カスタマーサポートセンターの連絡先**

電話窓口：0120-678-309

ファックス：045-472-2777

メール：support@rim.or.jp

受付時間：土日祭日を除く平日10時～19時

本マニュアルに記載されている内容の著作権は、原則として株式会社イージェーワークスに帰属します。  
著作権法により、当社に無断で転用、複製等することはできません。